

放課後等デイサービス自己点検表

令和2年3月9日

児童デイサービスはなみずき

		チェック項目	評価	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害特性の違う子供たちが多く、活動時間の工夫、1階、2階のスペースを分けて活動を行う。</li> <li>・屋外活動を増やし、色々な体験、経験をしてもらう。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であるか	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日により、少ない時がある。</li> <li>・職員の研修、日々のミーティングで情報共有をしていきます。</li> </ul>
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状は身体障害児の利用はないので、玄関、トイレの不都合はありません。</li> </ul>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の1時間前後のミーティングで情報共有、改善等の話し合いを行っています。</li> <li>・職員の研修参加を積極的に行っています。</li> </ul>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に保護者との連絡等、苦情、問題があるときは、随時、面談をしています。</li> <li>・今期より、年2回の保護者会を行っています。</li> </ul>
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今期、行う予定でしたが、来期は行う予定です。</li> </ul>
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉社協、さいたま市、民間の研修を全員の参加を積極</li> </ul>

				的にうながしています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	・保護者面談、職員同士のミーティングを通して、支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	△	・SST等を障害特性あった方法で具体的に子供の見立てをしながらしていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	・日々のミーティングで、職員全員でアイデアを出し合っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	・毎月、新しいプログラムを導入したり、継続したり子供たちの反応を見ながら工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	・長期休み等は遠足、保護者参加のイベント、平日では出来ない活動を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	△	・障害特性の違う子供たちが多くなり、個別療育の方法を検討しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	・日々のミーティングで前日の子供の様子、問題等を確認し合っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	・その日の子供たちの様子等を職員間で感じたことを共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	△	・終了後、子供たちの記録をしていますが、記録に基づいた振り返りが共有できていません。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	・モニタリング、保護者面談、担当者会議等で確認しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		

関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	×	・担当の相談支援員、学校の担任の先生方とも情報交換をしていきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	△	・少しずつ出来ている学校と出来ていない学校があるので今後もコミュニケーションをはかっていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	△	・現状は重度の子供はいないが、保護者からの情報収集のみです。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△	・一部の機関と情報、事業所の見学等は行っているが、今後も情報共有等、増やしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	・卒業後、保護者とも情報交換をしながら、地域での関わりを持っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	△	・埼玉社協、さいたま市、民間の研修が主になっています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	△	・児童センター、交流センターの利用の機会はあるが、地域の子供たちとの関わりは少ない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	×	・まだ、機会がありません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	・送迎時、状況に応じて面談、電話等で連絡し合っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	△	・今期より、保護者、職員等の外部講師を招いての勉強会を行っています。	
保 護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	・見学時、利用契約時にご説明、質問等を伺っています。

者 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	・随時、相談、面談等を行うよう対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	△	・保護者会、長期休み時のイベント、勉強会等で保護者同志のコミュニケーションの場の提供をしていますが、まだまだ全員の参加には至っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	・担当者を決め、迅速に職員のミーティングを行い、解決の方法を検討しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	・外活動、イベント等はその都度パンフレットなどを連絡帳に入れて案内しています。日々の活動内容は年 2、3回の会報を発行していきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○	・徹底していますが、保護者には状況に応じて説明していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	△	・送迎時、面談等で複数の職員で対応しています。 ・職員で手話、指筆談等にも研修を考えていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	×	・まだ、地域住民を招待して出来る活動は行えていません。 ・自治会の活動等の参加でコミュニケーションを」はかっています。
非 常 時 等 の	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	△	・作成はしてありますが、保護者にはまだ、十分周知はされていないようです。訓練時に再度、説明していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	△	・定期的に訓練はしていますが、利用者全員の参加はできていません。日程等を再検討していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	○	・研修会には職員を順番に参加していますが、すべての職

対 応		をしているか		員の参加はできていないので内部研修も行っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	・現状は身体拘束は行っていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	△	・アレルギー情報は契約時に保護者より情報を得るようにしています。毎回の面談時に再確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	・日々のミーティング時に事例を報告、対応を検討して共有していきます。